# <別添> 令和6年度アクションプラン事業評価シート (目指すべき方向性別)

5「5 機動的な組織運営に向けた仕事の進め方・働き方の改革」

1 基	本情報	報				担	当 課	ダイバー	-シティ推済	進プラザ	関	係 課	人事課·商	<b></b> 百工観光	課
事	業	名	No.	5	男女とも	に働きや	すい職場	易等へのす	意識改革				•		
事	業区	分	継続	会 計	区分	一般	会計	予 算	費目	款	2	項	1	目	13
施	策体	系	2	人権·多	文化共生				戦略的	内施 策		行政改	革大綱	(1)	(5)
根抄	心法 彳	等									A.	事 務	区分	自治	事務
事	業期	間	単年	<u>—</u> —— 度(	年度)	☑単年	度繰返(		年度~維	<b>迷続</b> )	複数年度	₹(	年度~		年度)
	5巻の		中佐山				`			150					
			·実施内 I	<u>谷</u>											
事業	業 目 i 実施す	効果							上事と子育						生する。
事 ( 全	業 概体計		②男性の ③働き方	家事・育児を を見直して	参画を進め、 経済的自立	るため、「ダ を目指す「	子料理教	室」や「父子	こより、事業 その遊び体駒 ア形成セミナ	(ロークシ	X車の取組 ヨップ開催	を夫状に言	わせく夫他		
`		_ ′	事業(	の対象	生駒市民							(対象数:			)
						計画						取組実績			
					の両立に対								解促進のた		
			来句でな		「健康経	呂」の加州	多(インハ	<b>人食风</b> 神					ス養成講座加型ワーク		
24	ケケヰ	Φ	②家事・	育児に関	する親子	(父子)参	加型ワー	ークショッ	円						
	算年度 Eな取組		プ205-		<b>-</b>	<del></del>	100		③女性の	つためのコ	Fヤリア形	が成セミナ	一 99千	円	
		_	3女性	')/: <i>\</i> )()=	キャリア形	放セミナ	— 120	十円							
			事業実	施手法	☑ 直接	 実施	☑ 委託・៎	指定管理	□ 負担	金•補助会	<u></u>	 の他(			
3 事業費·財源内訳															
3 =	手耒貸	• 共 <b>小</b>	<b>派内訳</b>		R5決算			R6予算現	1安百	D 6	5決算(見	: 7 )		R7予算	•
<b>主</b> 業	費(千円	٦)			NO次异	55	·	10 小异均	<del>第</del> 380	1/6	) 太异(元	314		□ / ]′异	. (
尹禾	12委								370			305			
	14T		負費												
			及び交付金												
D 1500	その化	3				<u>55</u>			10			9			
財源	(千円) 特定則	<del></del> お店				55	-		380 173			314 107			- (
	市債	1 /// //					-		173			107			,
	その他	]													
	一般則					55			207			207			
	事業の	出出	• ≅v/⊞												
				仕事しる	シロケクコ	5 ± ^ ØI	田名刀士、沙兀	<b>ルフ H76日</b>	レーアー車	****	クエエタと	くい始のま	市 女旧乡	2. 而 大 "任	かっ = ==
	めざすり したこと		<sub>美塊に</sub> Kの成果)						として、事 、性別にか						める語
KPI		(3-/	10071900107	庄、人口	-07 ( 1. 7.		標1		. ITM::(C/J	73 17 7 9	正 075 国		標2	امار	
IXL 1		票名(	(単位)		イク:	ボス宣言		文(者)				]E/	赤仏		
	3,41	目標					3	ХСП /							
		実績				5	8								
	日標値	と実	 績値の差	事業者向	句け研修を	宇施し、	宣言事業	と考を募り	<b>してい</b>						
	分につ				加事業者										
行革	評価(	行政	改革大約	岡に基づ	(三評価)										
			<del>·                                    </del>	評価						した根拠					
			·財源確保)	В	研修等を何	世部署との	連携により	ノ効果的に	実施した。ま	た、国補助	金(少子化	対策)の対	象事業となる	るように事	業者向に
	_			評価	竹修と文元	ナドリノ・再座	<u>・ワークシ:</u>	ヨツノを組む	み合わせて野 評価	<sub>夫施した。</sub> した根拠	. 押由				
		1的点	<b>忠考</b> への寄与)		仕事と育り	見等の両立	への理解を	を深める取	組を雇用する			を対象として	て実施し、誰	もが働き	やすい職場
	(他來	日信/	(の句子)	В	への推進し	こ努めた。									
			との協創	評価	女 エムギョ	<u> </u>	50 A	+		した根拠		<b>华</b> 七 8 8 7 8 7 +	フーレブ ダ	7 ノの市労	-±
			意見把握 等の活用)	В	問工会議ト			<del>イ</del> ュハーシ	ョンセンター	-なこと共11	重しく研修	寺を開催り	acc (, 3	くい事業	<b>有へ</b> 仏教
	デジタ	ル・テ	<u></u> タ活用	評価	7.37.4.3				評価	した根拠	·理由				
	(デ	ジタル	の活用	_					こよる市民生	活への影	響について	は、即効性	がなくデータ	夕等に如う	ミに現れる
		·EBP	141)	評価	ものではな	よいいこめ)該	ヨレない。		■亚価	した根拠	. 理由				
	<u> </u>	合統	平価		仕車と至	日生へる	うけんか:	甲級を沙	<u> </u>			き 打い口	重業フタ	イルブ州	1
	11/9	ᆹᆸ	т триц	В		実施する			いる名が正の	_ U C、你	マ ひ刈多	く、ションロ、	・尹未ヘブ	フレビ世	可由可
ᄅ		ī Lα	7.計画型	/ <del>性</del> 早川 − ≠	<u>.                                    </u>				 場を目指す	₹₽₽₹₽	<b>生か</b> スたり	w1-1+ L	  り。ニノ	7.15=	~ / 7 ^ C
	■業実施 ・残され								場を日指り 肝修への参				ーン・フィ	ノ・ハブ	ノスハ().
	72, -1	<b>∪/</b> ∟□	/1.KC	1 ~ ± / 1 · E / 2		13 03 07	、	1 V 1 SV 0 V II	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		理由				
	今後の	田文公田	<del>方</del> 針	]	(善 (善	件中山-+	いかかに	ボタフの	 人が働きヤ			オたかに	車茶予か	市民点点	+∕∩≡≢rin
	/ 反い.	イン小江	ノコルー	"					へか働きへ て、参加し			タ /こび/し、	尹未日 12	마다다	・ソ・再座

							_																		
	本情	報					_	担	当		情報	ほシス	ステノ	增到	里室		関	停	<u> </u>	課					
事	業	名		6					の整備																
	業区		11-17-5	会		区	分		般会計		予	算	費			款	2			項	1		目		1
	策体		I	スマー	<u></u>	シテー	1 · D	X					戦	略	的	施策			-		革大			5)	
	退法台																			務	-	分	自治	事	
事	業期	間	単年	度(		<u></u> 年	度)	✓ 単	年度繰	返(		R6	年	隻~;	継続	) [	複数	年度	(		年度	~		年	度)
2 事	事業の	概要	・実施内	容																					
事第	美 目	ー 的・	業務系(L 職員のワ	.G-W/	AN) タイ,	の情報ル変化	報環境 とや業	竟につい 美務二一	て、職員 ズに応し	員利月 ジた道	用PC。 適切な	、情報 心業務	マスツ マスプ マスプ	トワ 見を提	ーク∜ }供す	等の整 る。	備や、	基盤	とな	る業務	务システ	ム等の	提供	を通じ	<b>ジて、</b>
事	業 機 体計	要画)	業務系( 提供を追	LG-W 重じて、	VAN 、職	√)の¦ 員の'	情報 <sup>3</sup> ワー?	環境に クスタイ	ついて ſル変化	、職、	員利! 業務:	用P( ニーン	こ、信 ズ(こ)	事報 ネ	トット た適	ワー 切な	ク等の 業務環	D整備 環境を	₹提	、基盤 供する	さなる る。	業務	シスラ	−ム等	の
	11 21		事業(	カ 対	象														,, -	象数:					)
			↑ 14% DD =				当初						^ 1	Ala mm :		=1	- S#+ 1 s			実績					
	算年度 Eな取約		<ul><li>◇機器</li><li>機器</li><li>素子</li><li>本サー業消</li><li>は、水井・</li><li>は、水井・</li><li>は、水井・</li><li>は、水井・</li><li>は、水井・</li><li>は、水井・</li><li>は、水井・</li><li>は、水井・</li><li>は、水井・</li><li>は、水井・</li><li>は、水井・</li><li>は、水井・</li><li>は、水井・</li><li>は、水井・</li><li>は、水井・</li><li>は、水井・</li><li>は、水井・</li><li>は、水井・</li><li>は、水井・</li><li>は、水井・</li><li>は、水井・</li><li>は、水井・</li><li>は、水井・</li><li>は、水井・</li><li>は、水井・</li><li>は、水井・</li><li>は、水井・</li><li>は、水井・</li><li>は、水井・</li><li>は、水井・</li><li>は、水井・</li><li>は、水井・</li><li>は、水井・</li><li>は、水井・</li><li>は、水井・</li><li>は、水井・</li><li>は、水井・</li><li>は、水井・</li><li>は、水井・</li><li>は、水井・</li><li>は、水井・</li><li>は、水井・</li><li>は、水井・</li><li>は、水井・</li><li>は、水井・</li><li>は、水井・</li><li>は、水井・</li><li>は、水井・</li><li>は、水井・</li><li>は、水井・</li><li>は、水井・</li><li>は、水井・</li><li>は、水井・</li><li>は、水井・</li><li>は、水井・</li><li>は、水井・</li><li>は、水井・</li><li>は、水井・</li><li>は、水井・</li><li>は、水井・</li><li>は、水井・</li><li>は、水井・</li><li>は、水井・</li><li>は、水井・</li><li>は、水井・</li><li>は、水井・</li><li>は、水井・</li><li>は、水井・</li><li>は、水井・</li><li>は、水井・</li><li>は、水井・</li><li>は、水井・</li><li>は、水井・</li><li>は、水井・</li><li>は、水井・</li><li>は、水井・</li><li>は、水井・</li><li>は、水井・</li><li>は、水井・</li><li>は、水井・</li><li>は、水井・</li><li>は、水井・</li><li>は、水井・</li><li>は、水井・</li><li>は、水井・</li><li>は、水井・</li><li>は、水井・</li><li>は、水井・</li><li>は、水井・</li><li>は、水井・</li><li>は、水井・</li><li>は、水井・</li><li>は、水井・</li><li>は、水井・</li><li>は、水井・</li><li>は、水井・</li><li>は、水井・</li><li>は、水井・</li><li>は、水井・</li><li>は、水井・</li><li>は、水井・</li><li>は、水井・</li><li>は、水井・</li><li>は、水井・</li><li>は、水井・</li><li>は、水井・</li><li>は、水井・</li><li>は、水井・</li><li>は、水井・</li><li>は、水井・</li><li>は、水井・</li><li>は、水井・</li><li>は、水井・</li><li>は、水井・</li><li>は、水井・</li><li>は、水井・</li><li>は、水井・</li><li>は、水井・</li><li>は、水井・</li><li>は、水井・</li><li>は、水井・</li><li>は、水井・</li><li>は、水井・</li><li>は、水井・</li><li>は、水井・</li><li>は、水井・</li><li>は、水井・</li><li>は、水井・</li><li>は、水井・</li><li>は、水井・</li><li>は、水井・</li><li>は、水井・</li><li>は、水井・</li><li>は、水井・</li><li>は、水井・</li><li>は、水井・</li><li>は、水井・</li><li>は、水井・</li><li>は、水井・</li><li>は、水井・</li><li>は、水井・</li><li>は、水井・</li><li< td=""><td>PC: 購入 ワーク ご3台 購入ラ</td><td>40( 費・消 機 費・ド サ</td><td>0台( 肖耗品 器: 5 <del>1</del> 6,16 サーI</td><td>Offi 記費: 台 2千i ビス(</td><td>iceライ 72,82 円 の導入</td><td>イセンス 20千円 検討</td><td>3</td><td>J)</td><td></td><td></td><td>青報済 保証 はいま はいま はい はい</td><td>系P(品牌) 品サース購入</td><td>計画(C:40 入費・ -ク費・ 入ラサ(ラ・ サ(ラ・</td><td>0台( 消耗品 器:18 7,32 サー</td><td>Off 品費: 8台 ビス</td><td>ice 68 円 の導</td><td>ライt 3,154 拿入検</td><td>討</td><td><b>む</b>)</td><td></td><td></td><td></td></li<></ul>	PC: 購入 ワーク ご3台 購入ラ	40( 費・消 機 費・ド サ	0台( 肖耗品 器: 5 <del>1</del> 6,16 サーI	Offi 記費: 台 2千i ビス(	iceライ 72,82 円 の導入	イセンス 20千円 検討	3	J)			青報済 保証 はいま はいま はい	系P(品牌) 品サース購入	計画(C:40 入費・ -ク費・ 入ラサ(ラ・ サ(ラ・	0台( 消耗品 器:18 7,32 サー	Off 品費: 8台 ビス	ice 68 円 の導	ライt 3,154 拿入検	討	<b>む</b> )			
			事業実	施手	- 法	Πī	直接	 宔施		Ŧ•‡	旨定管	5理	<b>√</b>	<b>台</b> 拒	3全•	補助:	<b>Ŷ</b>	7 <i>7</i> σ	)他	(	機器類	の購			
		пти		70 3	14	<u> </u>	그것	<u> </u>		ונ טו		3° <del>I</del>			= 717	11111/11	<u> </u>		حا ر		1/2/11/2/	( M -			
3 📱	<b>ド</b> 業費	<u>・財ル</u>	京内訳			R5%	市笘			D	(6予:	竺田	夕百			D	5決算	5/日)	`7 \			ים	7予算	7	
重業:	費(千F	٩)				KO		8,47	6	K	(OJ)-			408	1	K	3沃昇			755		K	/ 丁寿		356
子术.	12委							<u></u>	<del> </del>				<i>5</i> 0,-	+00	+				<u>J,</u>	755					<del>550</del>
	14工		負費					1,87	8																
			及び交付金																						
	その作							6,59						408						755					3 <u>56</u>
財源	(千円)							8,47	6				30,4	408	4			.,	/b,·	755				2,:	356
	特定則市債	1源																							
	その代	<u>t</u>																							
	一般則							8,47	6			8	30,4	408	3			7	75,'	755				2,3	356
	世代の	出田	·評価	•																					
Гд	めざすキ	犬態」		情報: も寄-			ンの	モバイ	ル化を	<u>進</u> め	たこ	とで	、職	 員が	パソ	コンを	・ を持ち	 運ひ	がやっ	すくな	り、ペー	-/\°-	-レス	 会議	等に
KPI				_				į	旨標1											指	票2				
			単位)					,	H 1137											,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	7.5.				
		目標																							
		実績	値												┸										
	分につ	いてい																							
行革	<u>評価(</u>	行政	改革大約			<u>&lt;評</u>	<u>価)</u>							====	-ı <u>+</u>	. 101bn	TITI -1								
			意識	評価				/ . I = m-	<b>.</b>				. ,, ,,,			根拠		-			-1-,,-				
	(費用対	対効果·	·財源確保)	В		中長	期的	」な視野	を持ち	5、財	<b>                   </b>	[担σ	分間						川こ村	幾器更	新を行	うて	いる7	こめ	
	l	目的思	思考	評値	西									評価	もした	根拠	・理由	3							
			への寄与)	в	,	職員	<u>(</u> への	ヒアリ	ング等	を実	施し	、業績	务二.	ーズ	に応	じたぇ	適切な	業務	<b>务環</b>	境を抗	是供して	こいる	ため		
	多样	か主体	 との協創	評値	面									評価	した	根拠	・理由	}							
	(市国	等への	意見把握	В		初斯	設定	を事業	きょうしょう はんしゅう しゅうしゅう はんしゅう はんしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう はんしゅう はんしゅう はんしゅう はんしゅう しゅうしゅう しゅう	で頼る	するこ	- <sub>2</sub> -7	で. 桴						1. 7	できる	取組を	·行つ:	t- t- λ	カ	
			学の活用)			נפינעו	JDX.~L	- C - F - A	, II	<b>Х</b> /ГЖ :	9 0 0		- \ 1/3			根拠					7X/III C	. 13 2	2,20	,	
			<del>ー</del> タ活用 の活用	評価		BAN =	٠ ، ،		~ . H`^	<b>~</b>	- EH 🗲	□zk -+-			•		-		- <del>-</del>	ш					
	B 職員へのヒアリング											: 踏ま	ス、						<b>シ</b> /こ	(V)					
	評価													評価	<b>証した</b>	根拠	・理由	}							
	総合評価 B 計画に沿った事業遂行ができれ												5												
 事	L 業実が ・残さ			次期	 ネッ	トワ-	 一ク様	機器の勇	更新に「	句け	た庁	 内ネ	ット	ワー	 ク環	境の村	<b>)</b>								
				$\vdash$	—	—	<u> </u>									判  半	理由								
,	今後の	取組	方針	Į Į	見状	維持				中長	製料的	りな礼	肥料	をも	って				更親	を行	ってい	くたと	5		
				1			- 11					1			-			HH							

1 ½	基本情	報	!					担	<u> </u>	¥	課	総務課				F	関	係	課	デジタルイノ  策課、情報シ	ベーション推 ステム管理室	進課、企画政 3、人事課
事	業		名	No.		5		ィス改														
	業 [		分	継続		計	区	分	一般	会計		予 算	費	則	款		2	_	項	1	目	5
	策(		系	IV	行政	<b>久経営</b>	=						戦	各的	施	策	Ш			革大綱		5)
	処法		_					<u></u> > F	<del></del>						(-t-)		- w	事	務	区分		事務
事	業	明	間	□ 単年/	芰(		4	度)[	単年	度繰	返(		年度	~継	続)	<b>✓</b> ₹	复数年月	芟(	R5	年度~	R11	年度)
2	事業の	D概	要	・実施内	容																	
事意	業 目	的									に応	えてい	くため	التارة	よりー	層の	部門間	引の過	重携や	、多様な(	動き方が	可能な、
事業	美実施	効		機能的で						-		_ +====		<i>4</i>	5 IV /	. FFT \		1614 1	100.614		w-1010 - m 1-1	
事	業を	317	æ. I	スそのた	- <i>አ</i> አ	劫怒	安内(	7.4.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.	子等をな	动态的	1.二两2	器1. 小	し数の:	打合+	+ + /	ù働き \数∂	万が可 )会議等	能な.	、機能はな形でなる	的で快適な 態に対応て	〝職場環境 〝きるよう	を整備す   な備品の
<del>ず</del>  ( 全	体計	れ ト 画	$\widehat{()}$	整備を行	<u>う。ま</u>	きた、仕	十器を	減らす	目的で、	行政	て書(	で電子化	の試行	を行	ò.	13/1-	, , , , , , , ,					о-илдд ->
				事業(	ク対	1 象			_										象数:			)
			ŀ	◇オフィ	그	<del>, 보 七</del>		<u>当初計</u> 宁					$\wedge$	·7 / ·	フコケち	<del>- L</del> 수	<del> </del> 策定	取約	且実績	Ī		
				✓ オフィ ▶ 基本計		牛刀		压 ,783 <del>-</del>	千円)					フィノ 本計		4.70亚	一來是					
				▶ 基本設	計		(3	,465 <del>-</del>	千円)				▶基	本設	計(一							
決	算年	隻の		<ul><li>▶ 実施設</li><li>▶ 入替計</li></ul>		在宁		,718 <del>-</del> ,750-					▶実	施設	計(一 iの6#	·部) 訓(Q	, 822	<b>工</b> 四	<del>(</del> ک) ئ	ショフ		
=	E な取	組		,八日司	ПШИ	R AE	(∠	,750	111/				残り	4割	tR7	に繰	,OZZ 越。	IIJ	<i>)</i>	ە 1 تار.		
				◇行政戈	て書言	電子化	上の話	忒行	(2, 44)	12千	円を	流用)	^ <-	· <del>- /</del>	-	<del>-</del> //.	σ=±<=	. ,	<b>~</b> 4	40 T M)		
													✓YJ	以又	青電	<del>」</del> 1じ	の試行	. (	2, 44	42千円)		
			ŀ	事業実	施三	手法	l i	直接実	.施 🗸	季:	F.·指	定管理		 刍扣?	全•補	助金		の他	(			)
	<del>+- **</del> =	± 6			,,,,	<u> </u>	ш.				0 1			. <	12 1113	77.112		9710				
3 }	手来的	Į•;	1.1%	内訳			R5	<b>沖笛</b>			R	6予算現	缩			R63	夬算(月	]; <u>Z</u> )		1	R7予算	
事業	費(千	円)	)				NJ/		3,336		17	U J. <del>H.</del> M	17,1	58		1107	八 <del>开</del> (万		264		1	0
	123	託	料										17,1						264			
	14								204													
	その		<b>制</b> 則/	及び交付金				۶	3,132													
財源	(千円	)							3,336				17,1	58				11,	264			0
	特定		亰																			
	一般		原					8	3,336				17,1	58				11,	264			
/ /	主業の	Def	尹	 ∙評価	-																	
	<del>ェ</del> スリ めざす											614.1 101		-11.						!!-		
寄与	したこ	راع (	事業	の成果)	部	門間()	)連携	きや、多	・様な働	き方	かり	能な、機	能的"	で快i	固な脂	城場均	<b>東境を</b> 野	怪備	するだ	めの指針	か策定で	ぐきた。
KP:									指	漂1									指	標2		
	上指			<u>単位)</u> /*																		
	-		1標√ €績√											-								
	日捶			<u>に</u> 責値の差										$\dashv$								
				関連の左																		
行革	評価	(行	政	改革大統	岡に	基づ	く評	価)														
	-	コス	゚゚゚゚゚゚゚゚゚	意識	評	価							Ī	平価し	った根	拠∙ <del>〕</del>	浬由					
				財源確保)	(	С	事業	の全で	でが完了	ひて	いな	いため										
			かほ	 思考	評	<b>呼</b> 価							Ī	平価し	った根	·拠·3	浬由					
	(施			ッ <b>つ</b> の寄与)		С	事業	の全で	でが完了	つして	いな	いため										
	多料	もナハゴ	上休 /	 との協創	評	P価							1	平価し	た根	·拠・3	浬由					
	(市	民等	への	意見把握の活用)		_	事業	の対象	象が職員	のた	め											
	<b>—</b>			一夕活用	国	<u>F</u> 価	3.21		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,				1	平価L	た根	!枷•]	理由					
		デジ	タルの	の活用	ļ .	_	デジ		データに	壬田で	: <del>+</del> 2	5性質の	-									
		· E	BPI	VI)	≣⊒	<u>F</u> 価	-	7.0	, ,,	7/13 <		11770			た根		理由					
		総	合詞	平価			vii	6.00 A :		71 -				ТЩС	, C.IIX	ر عرد،	<b>-</b> H					
		,			'	С	事業 	€の全で	、か完了	して	いな	いため										
	事業実	施_	上の	課題	日本7.+6	나막다	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	女供す?	スたみの	・ 連中	<b>+</b> 8.0	一番です	z - 1-									
	·残さ				백以均	<b>罗</b> 琛 垺	で登	≝11用96 ———	.∂(ر <i>ھ</i> ے/ د	ノ東用 	<u>ルル</u>	要であ	<b>つ</b>	- 0								
															半	亅断玒	里由					
	今後の	り取	組え	方針		現状	維持	·					事業	€の全	こてが	完了	してい	ない	ため			
					ı			l II							-			-	-			

	_	r情幸	艮						果 人事課				関	係	課	情報シスラ	-ム管理室	等
事		業	名	No.	7		_		入と勤怠		の効率							
	業		分	新規	会 計	区分	一般	会計	予算		目	款	2		項	1	目	1
	策	体	系	IV	行政経営	営				戦!	略的	施策		行		革大綱		5)
		法令	_											事	務	区分		事務
事	業	期	間	単年	叓(	年度	単年	F度繰返	.(	年度	を一継続	続) 🔽	複数年	隻(	R5	年度~	R8	年度)
2 4	事美	業の村	既要	・実施内	容													
事	<u></u> 業	目的	り・	1週間の	勤務時間	引(38時 フスタイ	り りに応じた	を維持し	た上で、近	遺休3日 可能と	∃を可 ≤し、職	能とする	る完全フ 場満足原	レッ? <b>を向</b> 」	クスタ とに繋	イム制度 げる。	を導入す	ること
事 ( 全	業体	概 :計 i	要画)						で、週休3E 職員の職場					タイムギ	制度を	導入する。	ことで、各	職員のラ
` -		Р		事業(	の対象										象数:		'00人	)
				** >	, <del>**</del> ** *		刀計画						1 #UP 6		里美績		÷1,5,90	
		年度(		新システム 制度導入 条例・規則	にあたり、 川の改正	で 構築 必要に応		h-		る新 テム また 27:	たな勤の構築、新たし が所に	)務情報シ を行った こシステム ナンライン	ノステムの :。 ムの対象 ノタイムレ	)業者 となる コータ	をプロ る消防ス メー等の	ポーザル  本部や市内 の機器を割	により選案 引小・中学を を備すると	校など :ともに、
=	Èな	议取組	l	円			入業務委託 入費等)1			・委託	託料(勤	か 務情報シ	ノステム薬	拿入業	務委託	の整備・核 E等) 31,	113千円	た。
				事業実	施手法	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	宝施 「		·指定管理			イムレコ <del>・</del>  え・補助会		人質∜  の他		3,051 <del>1</del>	<del>'</del> ]	)
	<b>=</b> 4	坐 建	H+31		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,				3020-1			2 111114773		*/10				
<u> </u>	争,	卡貝'	只么 ii	原内訳		R5決算	<u> </u>		R6予算现	調		R <i>6</i>	5決算(見	]认)			R7予算	-
事業	費	(千円	])			1(3)/(4	0		110 3 37-2	64,1	48	110	777(7		164			
	1	2委記	粈							44,8	301			31,	113			·
		4工 <sup>[</sup>																
		の他		及び交付金						19,3	247			23	051			14,864
財源			,				0			64,1					164			14,864
,,,,,,,	特	定則	源							.,.				,				,
		債																
	7	- の他 -般則								64,1	140			<b>5</b> /	164			14,864
					<u> </u>					04,1	40			54,	104			14,004
Г	めて	ざす状	態」	* <b>評価</b> 実現に (後の成果)														
KP.			( ) . , .				指	標1							指	票2		
		指標	[名(	単位)	今後も	生駒市で			見う職員の	割合(	(%)				JH1	<u>,,,,</u>		
			目標					度以上										
			実績	值		F	R6 81%	(R5 84	<u>1%)                                    </u>									
	分	につ	ハて	積値の差 の理由			(のアンケ	一卜結果	Aによる									
行革 	評	価(1	<u> </u>	改革大約	-	<u> </u>   					= <del></del>	+ 10+hn	тшь					
	,			意識	評価		· `* ¬ ı – +	- 4- 1 1 13	×			た根拠・		0 10	1 1 1 1 1		¥ +	<u> </u>
	( )	貫用对	効果・	·財源確保)	В	ンステム	ュ得人にめ	たり、核	様々な検討					'山ホ	一サ <i>)</i>	<b>いこより</b> 身	に   を選び	<b>正した。</b>
		E	的思	思考	評価							た根拠・	·埋田					
		(施策	目標へ	への寄与)	В	施策目	標達成に「	句け、新	システムの	)構築	を進め	た。						
				との協創	評価					Ī	評価し	た根拠・	·理由					
				意見把握 等の活用)	В	教育委	員会、消防	本部と	調整しなた	がら、ミ	ンステム	ム業者と	生共に新	シスラ	テムの	構築を進	めた。	
		デジタ	ル・デ	 <sup>*</sup> 一夕活用	評価					į	評価し	た根拠・	·理由					
		(デ		の活用	В	人事事	務・給与事	務を効	率化できる	るよう	要件定	≧義を行	い、新シ	ステ	ムの精	構築を進め	かた。	
	-		EDP	101)	評価	1 13 3	1,4,5,5	375 = 7.15	,			た根拠						
		絲	合語	平価	В				勤務情報 lんでいく。	システ				あり、	引き	続き完全	フレック	スタイム
Ę		美実施		)課題 果題	新たな勤	助務情報	システムに	こよる労	務管理·約	<del>与事</del>	務の安 ——	定運用	と完全に 	フレツ	クスタ	7イム制度 	の導入	
												判断	理由					
	今	後の国	汉組:	方針	現場	<b>ド維持</b>			り新たな					始予定	定であ	るため、	引き続き	完全フ

					•		_						-					
1 碁	本情	報				担	当	課人事	課			艮	<b>人</b>	係	課			
事	業	名	No.	8	人材育	可成と良好	な職場理	環境づく	りのた	<u>-</u> めのノ	事評	価等				-		
事	業	分	新規	会 計	区	分一般	设会計	予 :	算	費 目	款	7	2	J	頁	1	目	1
施	策位	系 之	IV	行政経営	<u></u>	·			単	比略的	的施	策		行』	改 改	革大綱	(	(5)
根抄	见法 :	令 等												事	務	区分	自治	台事務
事	業其	間	単年.	<u>度(</u>	年度	₹) ✓ 単年	丰度繰返	₹( H	21 年	度~糺	迷続)	褸	数年度	₹(		年度~		年度)
2 1	車業の	細垂	· - 実施内	宓														
	<del>] 末</del> (. 詳 目																	
事業	実施	効果				環境づくり! 												司の制度な工業
事 ( 全	業 根体計	无要 画)	に応じて、人	材育成に資す		fっているところ して人事評価の!												
`_			事業(	の対象											象数:	約1,7	00人	)
						初計画									実績		- /	4h
				ニタリンク 晒制度の!		運用開始			人	事評値	聞につ	いてに	ま、令利 坐い	16年	度か 帰事	ら会計年  度を活用	斐任用版 11 .たま?	戦員の勤 終とする
			八 <del>事</del> 計   	川市リラマノ	元旦し								もいてん		門叫巾!	浸で泊川	10/EX1	いてんり
ξф.	算年度	FΦ							∄	た、人	事評個	立とは	別に剖	下か	ら上	司の評価	を行う」	上司モニ
	<del>昇サ</del> ほ Eな取															きから試行 佐まで拡		
_		-														たよう制度		
									<i>t</i> :		313.2							_,,,
										_								
			事業実	施手法	✓ 直	接実施	委託	・指定管	理 _	」負担	金・補	助金	<u></u>	の他_	(			)
3 📱	事業費	·財	原内訳													-		
					R5決			R6予算	現額			R6	央算(見	込)			R7予算	
事業	費(千	円) 託料				C	<u> </u>			0					0			0
		事請																
			及び交付金															
	その																	
財源	(千円						<u> </u>			0	-				0			0
	特定市債	初源																
	その	也																
	一般	財源																
4 =	事業の	成集	·評価															
			<u>ま現に</u>	会計年度	任用職員	 員の目標達原	龙度評価	(什事の語	平価)を	<del></del>	とで、こ	これま	でよりも	5詳細	な評	 価を行うこ	とができ	た。上司
			業の成果)			の対象者を										ш с 13 У с	2.5 ( )	7003
KPI							標1								指	票2		
			(単位) 5/5	自分のi	能力を	発揮できて		思う職員	の割合	<u> </u>								
		目標				<del>則年</del> R6 73%	度以上	110/)										
						KO /3%	(K5 /	1%)										
			績値の差 の理由		職	員アンケー	トの結果	果による										
行革	評価	行政	改革大紅	L 綱に基つ	く評価	<u>f</u> i)												
			·意識	評価		<u>-1/</u>				評価	した根	拠・理	里由					
			·財源確保)	В	会計年	度任用職員の	人事評価	の見直しに	あたり	)、評価者	・ 被評値	西者の:	負担が少	なく済	むよ	う考慮しなが	ーーー バら見直し	を行った。
			——————————————————————————————————————	評価						評価	した根	拠・エ	里由					
		目的原	<b>芯汚</b> への寄与)	В	上司王二	ニタリング制度	について、	令和5年度	の職員					大するな	など. 耳	1単月的に沿	 った見直し	を行った。
				評価	1-5-	-> >> > 10.10	100000	131113 112			した根			() ()	J.C.		27CJUEC	J C   1 J / C 0
	(市	え等への	との協創 意見把握		ムニケロ	また 田聯 早の	. <del>da -</del> ∞/==#	鹿の日本	1-++		-			1 1 24-25	**==	\		+4+
			等の活用)	B	云訂午	隻任用職員の <i>。</i> 	人事評価市	リ段の兄担し	ノーのだ					い叙目	安貝z	に思見を包	い、兄担し 	を打つた。
			<sup>≕</sup> 一夕活用 √の活用	評価							した根							
	( )	·EBF		В	会計年	度任用職員の	)人事評価	シートにつ	いて、	評価者・	被評価	者が利	用しやす	ナいレー	(アウ	トのエクセル	/データを 	作成した。
				評価						評価	した根	拠・理	里由					
		総合	評価	В	事業目	目的に沿った	た人事語	平価等制	度の見	見直しる	を行っ	た。						
	= ***	<b>-</b>	N====	+									. ^-'	<u></u>	<i> </i>	TW =		<del></del>
事	¥実 ・残さ		D課題 <sup>理題</sup>	来年度   価制度	こおいて	ては、人材育 て見直しを	育成基本 行って□	「万針の)) ハイ	正時見	直しる	:控え	くおり	、会計	年度	仕用	<b>載員以外</b>	の職員の	り 人事評
	えこ	ィいこ	N/KZ			元旦して	11 7 60				Y.	判断理	由					
	今後0	)耳7約日	方針	1月11日	維持	人材容	成と自加	スか <del>咄</del> !早:	<del>":"</del>	づくい				[≣亚/邢	等の	制度見直	しを継続	制,て実
	7 100	<b>一个小口</b>	./ ] 12	25517	7小元17]	施してい		」. ひ.柏水/2012	*水坑 -	ノヘソル	-只9	υO ,	八八手	ор ГІЩ	<del>√1</del> ∨)	火化吗	∪ ⊂ 州生形	no C <del>X</del>

1 基	基本情	報					担	当	課	人事課	Į				関	係	課				
事	業	名	No.	9	)	社会人技	采用試験	に基礎的	能力	対検査を	導入										
事	業区	分	新規	会	計	区分	·   —	股会計		予算	重	ł E	1 1	款	2		項	1	目		1
施	策は	系	IV	行政	経営	<u> </u>			•		戦	略	的旅	重策		行	政改	革大綱		(5)	
根拠		令 等	生駒市		用規	 記程										事	務	区分	É	治事	務
	<del></del> 業 期					<u>-:-</u> 年度)	✓ 単4	年度繰返	⊽(	R	ら年	き~き	継続)		複数年		373	<u>年度</u> ~			年度)
-						1 12/		1 /文//木尺	<u>~(</u>	- 1 1			1111111111		122/1	<u>/~(</u>		112			1127
<u>2      </u>	事業の	概要	<u>·実施内</u>	容																	
	業 目 実施		社会人技確保する		験に	基礎能	力検査を 	導入す	るこ	とで、	面接¯	で見た	亟め難	性い受	·験者の	)基礎	能力を	で可視化し	、優秀	が 	.材を 
	業 根 体 計		社会人技						、人:	物重視	の面	接と作	併用す	する。							
			事 業 (	の対	象		采用試験	応募者									象数:	-			
			<del>++</del> 7** 4\	- ۱۸ - ۲۸ -	*/_		計画				-5-1	<u> </u>	+1 <i>4</i> -7	N 44- FF/1	— min — -		祖実績		マケロか / -	1 A 10	74.1
	算年度 Eな取る		·社会人	向ける	大大	PI3)を 媒体の利 託料(3,		円)			士量用語では、一世の一世の一世の一世の一世の一世の一世の一世の一世の一世の一世の一世の一世の一	、土材は大田のは、土地のは、土地のは、土地のは、田田のは、田田のは、田田のは、田田のは、田田のは、田田のは、田田のは、田	ト職、副 対応)記 に同様に 過者のこ 向けす	事務職 武験)に みここ みこう 人媒	(DX推 基礎能 トセンク 食できる	進担能力をよった。転職、	当)、事 査(SP: 場での こしたこ ミドル	合事務、事 務職(専門 I3)を導入 受検にした ことで費用 の転職、A	分野)、 した。 ここと、 と受検	事務順 新卒対 また書 者数カ	哉(業務 象の採 誘類審 ぶ減少
			事業実	施手	法	直接	実施	✓ 委託	・指	定管理	1	負担	⊒金•ネ	浦助会	È 🗌 :	その他	(				Ì
3 📱	事業費	·財	原内訳															_			
						R5決算	Ī		R	6予算3				R6	決算(	見込)			R7予	算	
事業	費(千						(	)				190					759				C
		託料									3,	190	)				759				
		事請																			
	18頁型 その		力及び交付金																		
財酒	(千円										- 3	190	+				759				(
火 // // // // // // // // // // // // /	特定							⁴—			ی,	190	<del>'                                     </del>				139				
	市債	-K-7 W-7.																			
	その	也																			
		財源 財源									3,	190					759				
4 -	<del>- **</del>		ı = <del>1</del> 777					-										•			
Γ	めざす	状態」	* <b>評価</b> 実現に 業の成果)				 こ基礎能 より、公務										やスキ	- ルを数値	化し客	字観的	に評
KP]		_ ( +->	<del>*************************************</del>	Щ	ے م	) & ) IC &		・ハウスペ i標1	(100.0	エJサフ/	こ後の	5.0.	(14) G	単小	( ()/	•	+Ŀ,	漂2			
NPI		煙名(	(単位)				16	31示									1日/	示と			
	JP	目標																			
		実績																			
		直と実	*!!= 績値の差 の理由																		
行法			7改革大統	細にま	まづ	く証価)															
117-		,,,,,,		評(		<u> </u>						評価	した;	根拠・	理由						
			· <b>意識</b> ·財源確保)			英なのぜ	カニュー アン・カン・カン・カン・カン・カン・カン・カン・カン・カン・カン・カン・カン・カン	·□Uゞ <b>甘</b> 邥	林公比-	<del>力松</del> 本/	CDIS		-			コルツ	こ 弗田	を削減で	±+_		
	(貝用)	N) XII)**	- 10 // // // // // // // // // // // // //			利辛のオ	一	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	更用它 <i>,</i>	八代王(	3P13					HIC]+	ノ貝川	で削減で	2750		
		目的	思考	評	曲								した								
	(施舒	<b>食目標/</b>	への寄与)	В	3	客観的な	評価基準	を設ける	328	とで、多	様なら	受験者	から値	憂秀な	人材を	選抜す	けること	が可能と	なった。	)	
	多样	な主体	との協創	評	画							評価	した	根拠·	理由						
	(市)	民等へσ	意見把握	В		民間企業	や他自治	休と同様		其準を言	ひける	ニンフ	~								
			等の活用)			四日正本		1177017318	3(0)	±+ C	X17 G			+⊟+bn	珊山						
			<del>"一</del> タ活用 ノの活用	評(	Щ		1128					計加	した	<b>作区</b> 扩处:	''理田						
		·EBF		<u>_</u>		デジタJ 	レ技術・テ	タの: 	<b>沽</b> 月	はなし 	.1										
				評	西							評価	した	根拠·	理由						
	i	総合語	評価	В	3		采用試験 よ人材を						とで、	受験	生の能	力を	客観的	りに測定し	、公平	性が	保た
哥	『業実》 ・残さ			基礎	能力	検査の	結果とと -	— <u>—</u> もに、面	接	 試験の	評価:	基準を	- <u>-</u> - をより	明確	 化する	必要	_ <del></del> がある 				
														判断	理由						
	今後σ	取組	方針	] 3	現状	維持	社会人								で、面	接だ	けでは	見えにく	い受験	食者の	能力

1 ;	基	本情幸	B					[	 担	当	課	人事課					<b></b>	係	課					
事		業	名	No.	1	0	業務	量増	加対応	任期付	職員	- 員の採用	試験	等実	施									_
_	業	€ 区	分	新規	会	計	区	分	<del>-</del> f	般会計		予 算	費	目	款	7	2		項	1	E		1	
施		体	系			女経営							戦	略自	的 施	策				革大綱		(5)		
				生駒市耶		采用表												事	務	区分	É	治	<b>下務</b>	
事	業	期	間	単年	度(		年	度)	_✓ 単	年度繰	返(	Re	5 年	隻~糾	迷続)	複	数年	度(		年度~			年度	)
2	事	業の机	既要	・実施内	容																			
事 事	業業	目 的 実施效	り・ カ果	職場環境 務量増加	竟の多 旧対応	定定性	生と業 期付「	終の 職員の	継続性 の採用	を確保 試験を	まする 実施	るために 感する。	、業務	务量の	)増加	が見え	込まれ	る業	務に対	対応するだ	きめの	事務	職(業	Ė
  事  ( <sub>全</sub>	業 ≥ t	集 概 本計 ii	要 画)	一定の其 め、任期								易合や職	員が	産前	·産後	休暇や	や育児	休業	等を耳	収得した場	場合に	対応	するア	Ė
		т рг р		事業(	の 対	象				候補者	í								対象数:				)	
				/イサロノナ政	₩ <i>□ α</i>	V +111 E		当初記					- <del>1</del> -1-2	<u> </u>	477.4	<u> </u>	フボロ		組実績		7ケ 旦 1	<b>4</b> + n + -	+r <del>t-</del> \	/ <del>-</del>
				任期付職	戦員♡	ソポト	H 記入 為 9	火い夫	池										₹で、事	務職(業	)分里 4	ゴルロメ!	J/心 <i>)</i> 1	I
		年度の な取組																						
				事業実	施引	手法	✓	直接爭	ミ施	委託	モ・指	<b>信定管理</b>		負担	金·補	助金		その他	! (					)
3_	事	業費・	財派	原内訳																				
丰平	노 보	2/7 m					R5)	夬算_		_	R	6予算现	見額_			R6>	<b>-</b> 算(5	見込)			R7∋	<b>净</b>		_
<del>  事</del> ま 		(千円 12委詞								<u> </u>				0	-				0					0
		14工事		負費																				
				及び交付金																				
		その他			_					_														_
以/ 波 		千円) 持定財	酒		-					<u> </u>				0					0					0
		时促的 市債	///																					
		その他																						
		一般財	源_																					
4	事	業の原	戊果	・評価																				
		ざす状 たこと		実現に 美の成果)	事務	第職(	業務	量増加	n対応)	)任期付	職員	員の採用	試験	を実	施した	<u> </u>								
KP	Ί_	1617	/							<b>旨標1</b>			_						指	漂2				
	-			単位)	_		採用	<b>予</b> 定			名	<del>算</del> 登録率	<u> </u>											
	ŀ		目標		-				-	70% 50%														
			と実	責値の差	行政め。	女事系	多に対	応で			 考し	 ノて採用	したか	<u></u>										
行言				改革大統		且づ	′∠証	<b>(</b> 番)																_
	Ťŗ				-	<u>単 イ</u> 価		<u>іщ/</u>						評価	した札	見拠・玎	里由							
				<b>意識</b> 財源確保)		В	<b>業</b> 释	の停	滞を防	i <del>≓</del> ∵∖∆⊡	要な	時期に												
	F					<u>·</u> 価	71(3)3	, , , , , ,	7115 C 175			3,431-2				見拠・到								
				<b>思考</b> への寄与)			₩±×	7 1	<b>二分</b>	·1-幻士	<b>л</b> =	P RW = 4						<b>ئد</b> ÷	<b>車√/共</b> 1−	·宋 <i>仁</i>   <i>十</i>				
	L	(他來)	コイ示/ `	(0) 舒子)		B	半る	· つ人	貝開元	に笛よ	· ウ 9	, 戦貝/						苦い	金州に	寄与した	. 0			
				との協創 意見把握		価										₹拠・理								
				息見に経 の活用)	E	В	各課	から	の要望	等を受	け、	採用試	験を核	討及	び実	施した	-0							
	Γ			一夕活用	評	価								評価	した札	見拠・理	里由							
			バタル EBP	の活用 M)	E	В	採用	プロ・	セスに	おいて	、オ:	ンライン	申込む	みがす	可能で	ある。	,							
	F			,	評	価								評価	した札	見拠・理	里由							
		総	合訂	平価		В			加対応 援でき		聞	員の採用						くがる	もので	でありし、	職員の	の多様	を負	ħ
]		業実施 残され			任期	月付知	時間	勤務	職員の	)採用時	期、	採用プ	ロセス	スの検	耐が	必要で	である	00						
								$\neg$							7	判断理	曲							
	9	後の耳	[X組]	方針		現状	維持		社会構 量増加	造の変 対応任	化や期か	や行政需 寸職員の	要の 採用	多様付試験	化・複ぎ	雑化た	が進み継続す	業務する。	負担な	が増大して	いる	ため、	業務	5

1	基	本情報	艮					į	<u></u>	当	果	人事課					関	係	課	障がい福	祉課	
事		業	名	No.	_	1	障が			着支援												
事	美		分	継続		計	区	分	一般	会計	-	予 算		目		款	2	_	項	1	目	1
施	分		系	IV		女経営				·+-			戦	略自	的旅	策		-		革大綱		5)
		法令	_	障害者の		月(/)()					-,	D.(	/T-0	÷ 4	nt v± )		<del>/====================================</del>	事		区分	目冶	事務
事	う	期	間	単年/	芟(		+	度)	単年	F度繰返	<u>!(</u>	R6	年月	₹~ネ	性税)	` Ш	複数年月	旻(		年度~		年度)
2	事	業の	既要	・実施内																		
事事	業 業 :	: 目 的 実施郊	り・ 効果 ——	障がい者 支援を行	量が名 テい陸	章がし	か特性い者任	に応	じて働き推進する	き、そのる。	能ス	力を発揮	単して	生き	生き	と活	躍できる	るよう	う、職 <sup>力</sup>	易環境の	整備と職	場定着
事 ( 4	美色	美 概 体計	要 画)	対して、	障が	い者	任用の	の専門	別家によ	る相談	支捷	爰と理解	を実	施す É業務	るため	め、障 E施す	静がいを 「る。	もつ!	職員と	受け入れ	る職場の	の職員に
				事業(	の対	象				哉員と所	属	の職員						,, -	象数:			)
		算年度( な取組		・ 障がい 障がい 円)			おける		適応・	定着支援			を記録る	がい 设定( を受け	・者付 月1[ ナ、障	€用σ 回)。〕 動がい	専門家は 職場環境 者の職場	戦場返り と受り 気の整	ナ入れ 経備や <b></b> <b></b> <b></b> <b></b> <b></b> <b></b> <b></b> <b></b> <b></b> <b></b>	[ 定着支援林 に所属や人 業務の進 にだること 談委託料	、事課との め方につ ができた	いて支 :。
				事業実	施	手法	<b>√</b>	直接実	<b>手施</b>	✓ 委託・	指	定管理		負担	金·补	浦助3	金 🗌 そ	の他	(			)
3	事	業費	財派	原内訳																		
		71175	713 114	311 314 (			R5%	夬算			R6	5予算現				Re	5決算(見	記)			R7予算	
事		10千円							0					792					<u>693</u>			1,320
		12委 14工		<b>各弗</b>									<u>'</u>	792					693			1,320
				<mark>只貝</mark> 及び交付金																		
		その他		.,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,																		
財派		千円)							0				Г	792					693			1,320
		特定則	惊_																			
		市債 その他	1																			
	-	一般則											г	792					693			1,320
_	<b>-</b>			. =v/æ											•							-,
	ГЬ	ざす状	態」	• <b>評価</b> 実現に (後の成果)	障力者	 バい者 チ用 <i>の</i>		の専 !と障	 門家に。 がい者	 よる障か 本人へ <i>0</i>	バしバ かけ	 者であ 応方法	 る職! への!	具や 買を 理解	 受け. を深	 入れi める	 所属の暗 「障がい:	過かれる 対対 者雇	 いらの <sup>7</sup> 用理師	 相談支援 な研修」を	 業務、また 実施した	 :障がい。
KF							- 1, 1,,,	, _ , , ,		標1	.,.,						1111	H, H		票2	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	
	<u></u>	指標	票名(	単位)						者雇用率	[								7,11	, <u>,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,</u>		
	L		目標							30%												
	Ļ		実績	值					2.7	73%												
		分につ	いて						⊠の算定	≧基礎と	なる	る職員の	り増力	П								
行	革	<u>评価(:</u>	行政	改革大約			<u>'&lt;評</u>	<u>価)</u>							. ,	I = 11-						
				意識		価								評価	した	根拠	·理由					
	L	(費用対	効果・	·財源確保)		B	原則	として	て1回/月	目の相談	支	援を実										
		E	的原	思考	評	価								評価	iした	根拠	・理由					
				(の寄与)	,	Ą	各課	にお	ナる課題	題解決と	安	心してタ	安定的	勺に個	動く珍	環境で	づくりに著	寄与し	<sub>ノ</sub> た。			
	ŀ		:主体	との協創	評	価								評価	iした	根拠	・理由					
		(市民	等への	意見把握の活用)		В		ハ者任	用の専門	家のみな	らず	、就労移	行·定	着支持	爰事業	所の	哉員とも協	力して	て、職場	の環境整備	が助言支持	爰を実施し
	ŀ					価	た。							評価	il , <i>†</i> -	根枷	・理由					
				ータ活用 の活用	Tq	- јшј	+口=火	二十十平:	₩⅓৴	ヒャルニッシ	 זאו	山土土建筑。			-							
	L		EBP	M)		-	们砂	义[友]	未/万0기/	ためデジ	<i>,</i> y,	ノレゴ又1川・										
		ų,	- کر	₩.	干	価	7 <del>22</del> .4.%	· · · +~	/T 00 ! -	L 7 == 00	9.2	I- L					・理由	L81	<b>∀</b> → +	- 7 BM B A	#±## \> -	," •
		希	百元	平価 		В	の理	解を	深め、コ	ミュニケ	<b>т</b> —	ションの	り円滑	骨化や	や協力	力体制	別の構築	が進	んだ。			
		業実施残され								である暗 'ップが』				動き 	続け <sub>り</sub>			整え	るため	かには、継	続的な支	援体制
			T			TE - 1 '											理由					
	2	き後の]	収組:	万針		垷状	維持													観員へのア を実施する		果から相

1 基	本情	報				担	当	課デ	ジタルイ	/ノベー:	ショ	ン推進課	関		係	課	管理課、施	設マネジメント記	課他
事	業	名	No.	7		フラ分野													
	業区	分	新規	会 計	区分		会計	予	算		則	款			_	項		目(二)	
	策 体		I	スマート	シティ・[	)X				戦略	的	施策	ž		100		革大綱	(5) 白沙東郊	<i>k</i> 7
	<ul><li> 法 令</li><li> 業 期</li></ul>	可問	□₩左	庄/	年度)		F度繰	`E/		年度~	⊹Ν	<u>√</u> 4±\	九年	数年月	事	務	区 分 年度~	自治事務 R9 年	
			単年		平段)	<u> </u>	FJ及樑	巡(		午及^	一和	枕/ 上	] 1後:	<b>奴</b> 十九	₹( 	R6	平段~	R9 年	送)
			・実施内																
	美目 6		獲得にて	つながる。	0													ることで、人材	
	業 概 体計		図るととも 面等のデー	ちに、紙文 ータ化、設	書のデータ 計や積算業	化を図る。! 務における	具体的	には、エ	事現場	等でのタ	タブロ	レット端末	、テン <b>た</b> やラ	ジタルヨ	レ図面	iの活!	用検討、紙で	有や事務の効率f で保管されている	化を 3図
			事業(	の対象	行政組織											象数:		)	)
			▶租提作	業におけ	当 <u>を</u> するデジタ	計画 ル図面 <i>の</i>	利田	給計		▶租提	作	挙におけ	+ス <i>-</i>	デミジス		且実績 刃面の		いて、対象と	<del>.</del> 7
					子・検査業				易の			び手段			7702	чшо.	ノイリカルこ	/いて、対象と	. 9
			促進)の	実証実験	矣					▶現場	業	務での! <sub>.</sub>	J <del>E</del> -	ート端	沫活	開の	実証実験	を1回実施	
	算年度																		
1	な取約	Ħ																	
			事業実	施手法	直接	実施[	] 委詞	毛·指定	管理	負	担:	金・補助	金	<b>√</b> ₹	の他	(			)
3 事	業費	・財法	原内訳																
<del>== 27/</del> 7	亜/イロ	п			R5決算			R6-	予算現	額		R	6決	算(旯	込)			R7予算	720
争美	費(千F 12委			-		0	-				0					0		./	739
	14I		負費																
			及び交付金																720
財源	その化 (千円)			-		0	1				0					0			739 739
	特定則										Ĭ							,	
	市債	<u>ь</u>																	
	その代一般則																	7	739
<u> </u>																	•	<u> </u>	
	<b>●来り</b> かざすり		<u>:•評価</u> 実現に	関係課	と現場作	業の効率・	化に向	引け検討	対を行	い、オ	ンラ	イン会	義シ	ステル	اعد	J <del>E</del> -	-ト端末を	<u></u> 使用すること	
寄与し	<i>」たこと</i>		美の成果)		声と映像	により現	場を研									を確認	心た。	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	. –
KPI	11-11	<b>= 2</b> /	337.71.			指	標1	<i>(</i> )								指	標2		
	指標	<del>景名(</del> 目標	単位)			紙購入	、 <u>量(%</u> 90	5)											
		実績					<del>-</del>												
			iii 績値の差	本年度	は実証実	験を行い	、手段	の検討	1段階で	であり	$\Box$								
	分につ				と実績値の						`								
行革		_			づく評価)														
			意識 ₹・財源確	評価								ノた根拠	l·理	由					
	(貝川	保)		В	手段の村	食討段階"	であり	、支出	を行っ			-							
		的思		評価								ノた根拠		•					
	(施策	目標^	への寄与)	В	情報共	すや事務(	の効率	҈化とい	ハう目的	•			- 17		して	いる。	)		
			との協創 意見把握	評価								ノた根拠 ・		由					
			息見把握 (の活用)	С	現状は、	行政内部	『の事	務を中	心に核	食討を	開始	台してい	る。						
			一夕活用	評価						評	価し	ノた根 <u>拠</u>	l·理	由					
		・EBP	の活用 M)	В	デジタル	を活用し	ノた事:	務効率	化の事										
	J	· ^ -		評価						評	価し	ノた根拠	l·理	由					
	新	合統	半1曲	В	当初計画	画のとおり	り、デ	ジタル	技術を	活用し	た	実証実験	験を	実施	した。	•			
事	 業実旅	<u> </u> 上 σ	)課題	ф≑т≓	<del>┃</del> □邸ホテナ	-11 ++"		<b>↑#±</b> 广	1-1+7-	·	\ <b>+</b> \	1.1							
	・残され			天証美 	€験中でま	りり、木だ 	:誅趙(	ル特疋 	には至 <u></u> -	三つ(し 	いな	ιι <sub>ο</sub>							
					D / //								f理!						
4	今後の	取組	方針	現物	<b>犬維持</b>						等	を検討	し、ま	<del></del> 丰有手	-段に	こつし	いて、よりタ	効率的な方法	が
						ないか詞	夫証夫	練を追	≛のる。	)									